

## 取り扱い設置説明書

### 電動巻上型スクリーン（ケース仕様）TGE-70～120／TGE-80HD～120HD

このたびはキクチプロジェクションスクリーンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。お求めのプロジェクションスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの「取り扱い設置説明書」をよくお読みください。お読みになったあとは大切に保存してください。

## 安全上のご注意

下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては、必ずお守りください。

### 必ずお読みください

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方を誤ったときに生じる、危害や、損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は「**死亡または重傷などを負う可能性が想定される**」内容です。



**注意**

この表示の欄は「**傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される**」内容です。



**禁止**

このような絵表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。



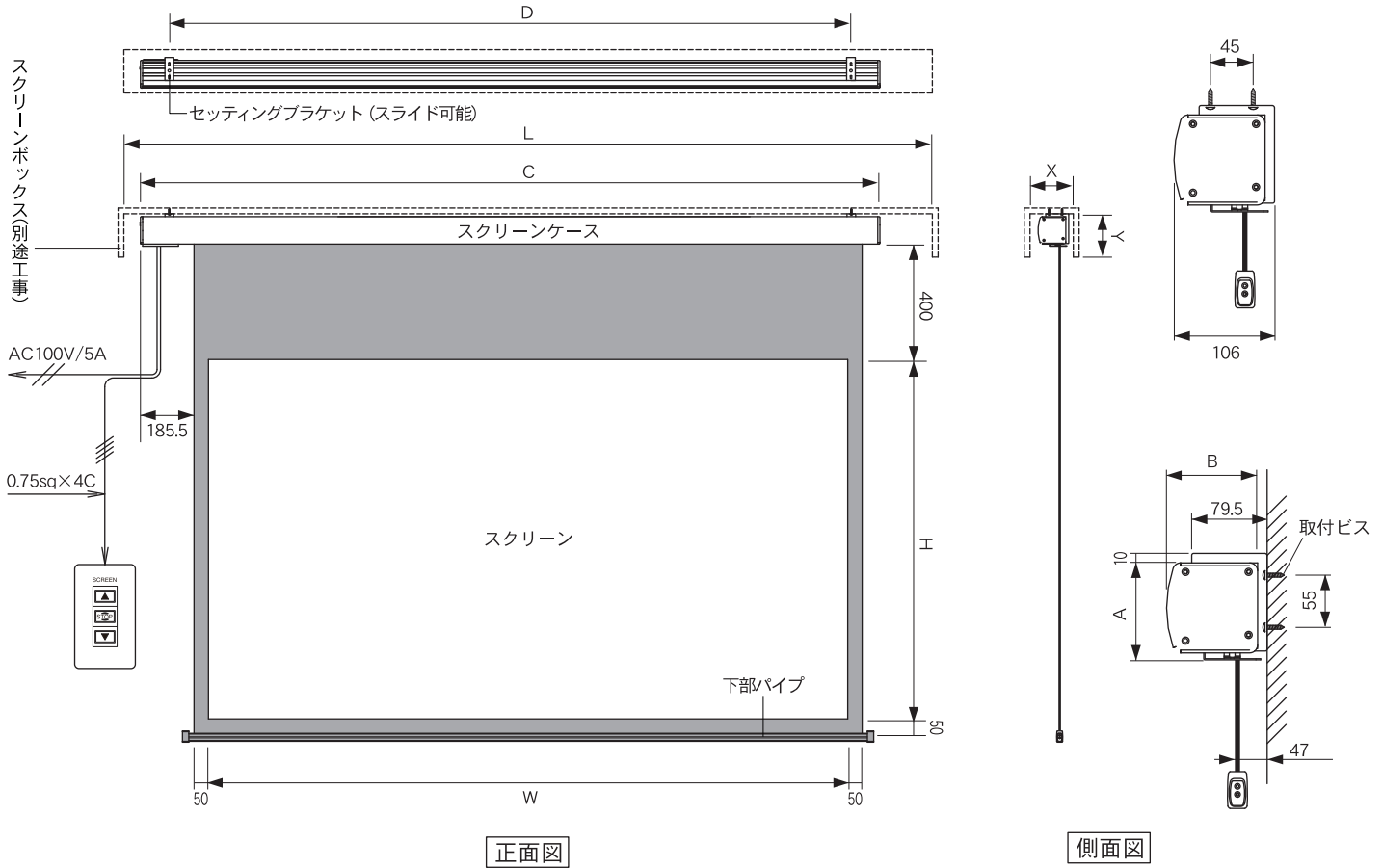
このような絵表示は、気をつけていただきたい「**注意喚起**」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただきたい「**強制**」内容です。

※取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

# 各部の名称と寸法



## [NTSCタイプ4:3 ビーズ(G)/150PROG(PG)/ホワイトマット(W)]

型番		スクリーンサイズ	外形寸法			推奨取り付け 穴ピッチ D(mm)	重量 (kg)	消費電流 /電力 (A)/(W)		
ビーズ G	PG		ホワイトマット	W(mm)	H(mm)				A(mm)	B(mm)
TGE-70G	TGE-70PG	TGE-70W	1422	1067	102	96	1769	1569	9.1	0.83/85
TGE-80G	TGE-80PG	TGE-80W	1626	1219	102	96	1973	1773	9.9	0.83/85
TGE-100G	TGE-100PG	TGE-100W	2032	1524	102	96	2379	2173	11.9	0.83/85
TGE-120G	TGE-120PG	TGE-120W	2438	1829	102	96	2785	2585	15.0	0.83/85

お客様でご用意ください。

ボックス寸法 (参考)		
X(mm)	Y(mm)	L(mm)
150	150	2000
150	150	2200
150	150	2600
150	150	3100

## [HDタイプ16:9 ビーズ(G)/150PROG(PG)/ホワイトマット(W)]

型番		スクリーンサイズ	外形寸法			推奨取り付け 穴ピッチ D(mm)	重量 (kg)	消費電流 /電力 (A)/(W)		
ビーズ G	PG		ホワイトマット	W(mm)	H(mm)				A(mm)	B(mm)
TGE-80HDG	TGE-80HDPG	TGE-80HDW	1771	996	102	96	2118	1818	12.4	0.83/85
TGE-90HDG	TGE-90HDPG	TGE-90HDW	1992	1121	102	96	2339	2039	13.4	0.83/85
TGE-100HDG	TGE-100HDPG	TGE-100HDW	2214	1245	102	96	2561	2361	14.8	0.83/85
TGE-110HDG	TGE-110HDPG	TGE-110HDW	2435	1370	102	96	2782	2582	16.4	0.83/85
TGE-120HDG	TGE-120HDPG	TGE-120HDW	2656	1494	102	96	3003	2803	18.0	0.83/85

お客様でご用意ください。

ボックス寸法 (参考)		
X(mm)	Y(mm)	L(mm)
150	150	2400
150	150	2600
150	150	2800
150	150	3100
150	150	3300

※取り付け穴ピッチは推奨の位置です。任意で移動することができます。※製品の仕様およびデザインは改良等のため予告なく変更する場合があります。

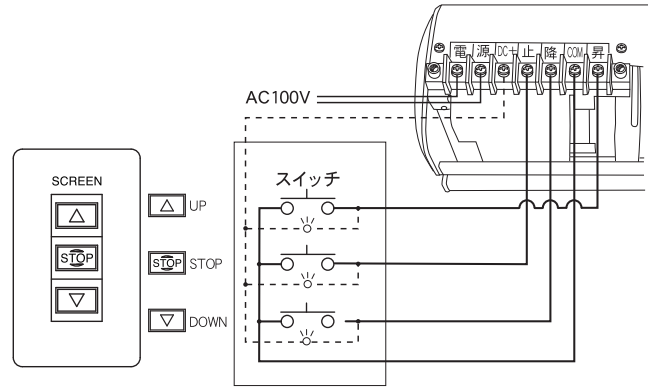
## 付属品 下記の設置用部品が付属しています

**警告** 下記の設置用部品以外での取り付けはおやめください。取り付け等の不備による脱落の恐れがあります。



# 結線の方法

- 端子台目隠しカバーを外し、電源線・操作線を結線する。  
 ※必ず電源を切って作業してください。  
 ※電源線はφ1.6×2C（入力AC100V）で、配管配線工事は別途です。  
 ※操作線は0.75sq×4C（VCTF相当）で、配管配線工事は別途です。
- スイッチを結線して、所定の場所に取り付ける。  
 ※スイッチは埋め込みで、埋め込みボックスは別途です。  
 ★点灯式スイッチ（別途）をお使いになる場合は、DC+をご使用ください。
- 最後に結線が正しく行われているか（他の線と触れていないか等）確認し、カバーを取り付けて電源を入れてください。



# スクリーンの取り付け方法



**警告**

スクリーンを設置する壁や天井が、石こうボードやパーティクルボードなどの場合は、少なくとも200kgの重量を支えられる下地が必要です。強度が心配な場合は、必要に応じて補強してください。



**注意**

◆天井取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。

- ・ボードアンカーのみによる施工
- ・ALCアンカーによる吊り下げ
- ・天井裏M/バーへ直接重荷をかける施工



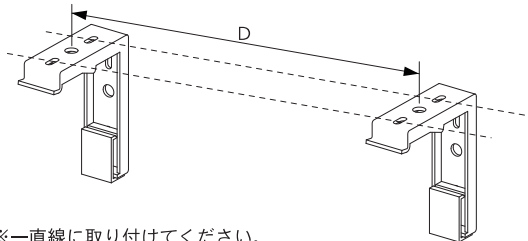
**禁止**

◆壁取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。

- ・ボードアンカーのみによる施工
- ・下地補強無し施工

**注意** 合板の天井または壁に設置する場合、合板は少なくとも20mm以上の厚さが必要となります。

- 1 セッティングブラケットを取付ビスで穴を使って天井に+ドライバーで取り付けしてください。2ヶ所の間隔は前ページの「推奨取り付け穴ピッチD」を参照してください。

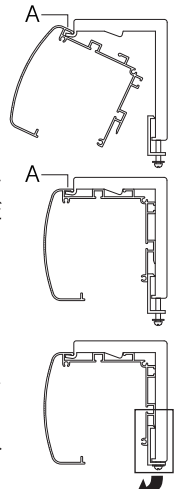


※一直線に取り付けてください。  
 ※壁面に取り付けする場合も、同じ手順で取り付けてください。



- ◆セッティングブラケットにスクリーン本体を取り付ける時には、必ず2名で行ってください。1人で作業を行うとスクリーン本体の落下や作業者の転倒や転落などの恐れがあります。
- ◆ケース溝部への差し込みやブラケットストッパーの締め付けは確実に行ってください。取り付けが不完全に完了した場合は、スクリーン本体の落下によって人的障害の発生の恐れがあります。

- 2 ケース天面のスライドレール前部の先端を、セッティングブラケット前部の凹みAへ、しっかり奥まで差し込んでください。

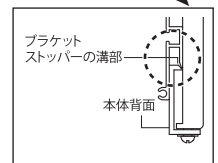
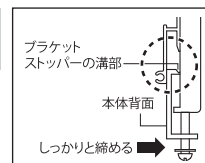


差し込んだAを支点にして、ケース背面をセッティングブラケットに押し当ててください。

※本体がしっかりと固定されるまで、必ず手を添えて作業を行ってください。

押し込みが完了したら、本体を前面から軽く押し付けながら本体背面下部の突起とブラケットストッパーの溝部をしっかりと合わせ、ガタツキがなくなるまでしっかりと固定用ネジで締め付けてください。

突起部  
拡大図



# ご使用方法

スイッチはパルス式ノンロックスイッチを使用しています。スイッチを一度押せばスクリーンの内蔵リレーが作動してあらかじめ設定した停止位置まで自動的に動き、停止します。



**UP**

スクリーンを収納するとき。  
 スクリーンが自動的に上昇して収納され停止します。



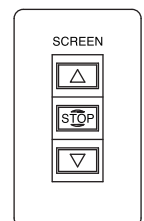
**DOWN**

スクリーンを使用するとき。  
 スクリーンが自動的に降下して設定された停止位置で停止します。



**STOP**

非常停止の必要があるとき。  
 スクリーンを直ちに停止するとき。また、作動中のスクリーンを任意の位置で停止させるとき。



# スクリーン停止位置の変更 (リミッター調整)

スクリーンの上部黒マスク巾 (有効画面上部より金属ケース間) は約400mmに設定されていますが(工場出荷時)、スクリーンケースに内蔵されているリミッターにより御希望の位置に変更する事が出来ます。

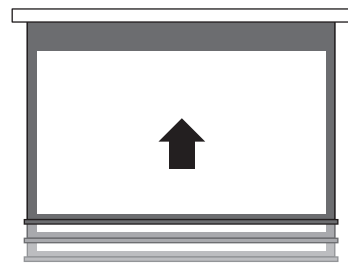
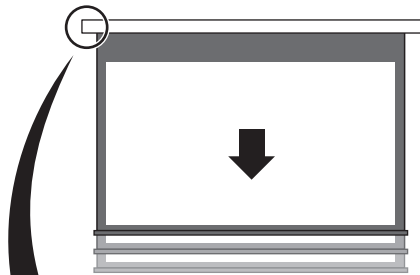
## スクリーン位置を下げたい場合

- ① スイッチをDOWNに入れ、スクリーンが止まるまで待ちます。
- ② スイッチはDOWNに入れたままにします。
- ③ 調整ボリューム黄色を反時計まわり (+表示側) へ六角レンチ又は、小さいドライバー等で回します。(ボリュームを1回転するとスクリーンは約25mmピッチで下がります。)
- ④ ご希望の位置になるまで続けてください。

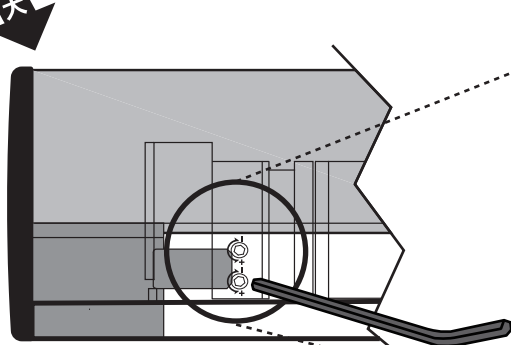
※ストップシール (スクリーン向かって左上に貼付) が見えたらそれ以上スクリーンを下げないでください。幕面が脱落する恐れがあります。

## スクリーン位置を上げたい場合

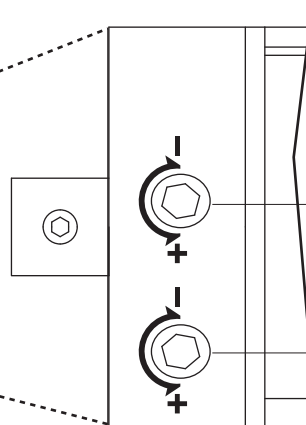
- ① 調整ボリューム黄色を時計まわり (-表示側) に2~3回、回します。(1回転で約25mm上ります。)
- ② スイッチをUPにし、スクリーンを30~40cm上げます。
- ③ スイッチをDOWNにし、スクリーンを下げ停止するまで待ちます。
- ④ ご希望の位置になるまで続けてください。



左底面部 (下から見た図)



調整ボリューム	
反時計まわり	+表示側
時計まわり	-表示側



調整ボリューム (上限専用)  
※調整禁止のため、樹脂で埋め赤色シールを貼り付けてあります。

調整ボリューム黄色 (下限専用)

**禁止** 通常の設置時は調整ボリューム (上限専用) を絶対に調整しないでください。下部パイプがケースに食い込んでしまいます。



調整ボリューム (上限専用) は、UPリミッター調整用です。工場出荷時に調整してあるので絶対に触れないでください。



4分以上連続操作すると、モーター内部のサーマルスイッチが働きモーターは停止します。暫く放置すると (15~20分)、サーマルスイッチが解除になり操作可能になります。(故障ではありません。)

## スクリーン位置が下がり過ぎた場合

スクリーン位置を上げたい場合を参照下さい。

## スクリーン位置が上がり過ぎた場合

スクリーン位置を下げたい場合を参照下さい。



株式会社 キクチ科学研究所 〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-35  
TEL. (03) 3952-5131(代) FAX. (03) 3953-0051